

# 総務産業委員会

## 意見交換会報告書

実施先：泉佐野商業会連合会  
実施日：平成28年1月21日（木）  
午後7時30分～午後9時  
場 所：泉佐野商工会議所

総務産業委員会

委員長 布田 拓也  
副委員長 辻野 隆成

## 泉佐野商業会連合会との意見交換会

平成28年1月21日（木）に泉佐野商業会連合会の役員の方々との意見交換会を実施しました。泉佐野駅の東側西側にある商店街にお店を持つ役員の方々およそ15名の皆様及び商工会議所の専務と担当者の方にご出席いただきました。

意見交換をする中で、話題は多岐に渡りましたが、様々な課題が浮き彫りとなり、現状を知る事ができました。意見交換の内容を課題として抽出したものを下記に要約します。

《課題1》店主が高齢化しており、後継者も不足している。  
現状の空き店舗の対策だけでなく、これから生まれる空き店舗がどれぐらいあるのかも注意しておく必要があります。

《課題2》空き店舗の件数は119店舗中31店舗。空き店舗がなぜ空き店舗のままなのか、商店街の方々も知らない。逆に聞きにくい。  
商店街の方々に聞けば、空き店舗がなぜ空き店舗になっているのか、なぜ貸さないのか、知っているものと私たちは考えていました。ここに本質的な課題があると認識しました。

《課題3》商店の上に住居がある。店を貸そうとすると入口を2つ作ったりトイレを1階に作ったりしなければならない。  
これはどこの商店街でも良く聞く課題です。

《課題4》駐車場がない。  
商店街の方々のこの課題認識については、委員から行きたくなる付加価値を付けることも重要ではないかという意見も出ました。

《課題5》ビジョンがない。  
商店街からは行政にビジョンを出してほしいという意見が出ますが、商店街自身がビジョンを出さなければいけないという見解もあります。誰が主体となるのかの意識の共有が課題なのかもしれません。

《課題6》インバウンドを取り込む対策として、案内板や他言語パンフレットなどがない。

特に外国人宿泊者数が全国7位となっている泉佐野市においては、重要な打開策となり得る物と考えられます。

《課題7》駅の東側にはトイレがあるが、西側にはトイレがない。

確かに駅の山側の空き店舗の解消は早く、西側の解消が進まない現状がある。

しかしながらその要因がトイレにあるのかどうかは明らかとは言えない。

最後に、商業会連合会からは今後もこういった意見交換会を継続してほしいというお話をいただきました。議会も商店街と課題や意識を共有しながら今後の活性化を進めていく必要があるという認識を持ちました。この意見交換会や視察を活かし、商店街の活性化や課題解決に向けて、総務産業委員会として協議を進めて参ります。